

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限（2006年12月20日設定）
運用方針	世界主要国の政府や政府機関等が発行する短期債券中心に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。信用格付がA格相当以上の国の中から、債券市場の規模、投資に係る規制等を勘案して投資候補となる国を決定します。投資にあたっては、利回り水準の高い国を複数選定し、当該国通貨建ての債券に投資することを基本とします。投資配分については、市場流動性や利回り水準等を勘案して決定します。投資候補国および投資国の見直しは、委託会社が必要と認めた場合に行います。為替変動リスクを軽減させるため、為替ヘッジ取引等を活用する場合があります。
主要運用対象	わが国を含む世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

世界好利回り短期債券 ファンド（毎月決算型）

愛称：キュート

第146期（決算日：2019年5月13日）
 第147期（決算日：2019年6月12日）
 第148期（決算日：2019年7月12日）
 第149期（決算日：2019年8月13日）
 第150期（決算日：2019年9月12日）
 第151期（決算日：2019年10月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「世界好利回り短期債券ファンド（毎月決算型）」は、去る10月15日に第151期の決算を行いましたので、法令に基づいて第146期～第151期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円		円		%	%	百万円
122期(2017年5月12日)	5,421		20		4.8	95.2	4,041
123期(2017年6月12日)	5,424		20		0.4	95.5	3,994
124期(2017年7月12日)	5,625		20		4.1	96.4	4,097
125期(2017年8月14日)	5,456		20		△2.6	96.4	3,927
126期(2017年9月12日)	5,511		20		1.4	96.8	3,907
127期(2017年10月12日)	5,499		20		0.1	93.5	3,834
128期(2017年11月13日)	5,482		20		0.1	97.6	3,765
129期(2017年12月12日)	5,537		20		1.4	96.4	3,772
130期(2018年1月12日)	5,548		20		0.6	97.4	3,729
131期(2018年2月13日)	5,427		20		△1.8	98.3	3,616
132期(2018年3月12日)	5,344		20		△1.2	98.3	3,549
133期(2018年4月12日)	5,346		20		0.4	97.5	3,520
134期(2018年5月14日)	5,252		20		△1.4	96.7	3,434
135期(2018年6月12日)	5,292		10		1.0	97.3	3,441
136期(2018年7月12日)	5,253		10		△0.5	97.1	3,332
137期(2018年8月13日)	5,123		10		△2.3	97.7	3,200
138期(2018年9月12日)	5,108		10		△0.1	97.5	3,154
139期(2018年10月12日)	5,131		10		0.6	97.2	3,109
140期(2018年11月12日)	5,227		10		2.1	96.9	3,132
141期(2018年12月12日)	5,237		10		0.4	97.6	3,091
142期(2019年1月15日)	5,033		10		△3.7	97.1	2,934
143期(2019年2月12日)	5,133		10		2.2	98.0	2,968
144期(2019年3月12日)	5,170		10		0.9	95.4	2,915
145期(2019年4月12日)	5,174		10		0.3	96.8	2,887
146期(2019年5月13日)	5,052		10		△2.2	95.4	2,768
147期(2019年6月12日)	5,018		10		△0.5	95.6	2,734
148期(2019年7月12日)	5,047		10		0.8	97.3	2,700
149期(2019年8月13日)	4,842		10		△3.9	97.5	2,566
150期(2019年9月12日)	4,957		10		2.6	95.4	2,601
151期(2019年10月15日)	4,979		10		0.6	97.5	2,588

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第146期	(期 首) 2019年4月12日	円 5,174		% —	% 96.8	% —
	4月末	5,158	△0.3		95.7	—
	(期 末) 2019年5月13日	5,062	△2.2		95.4	—
第147期	(期 首) 2019年5月13日	5,052		—	95.4	—
	5月末	5,014	△0.8		95.4	—
	(期 末) 2019年6月12日	5,028	△0.5		95.6	—
第148期	(期 首) 2019年6月12日	5,018		—	95.6	—
	6月末	5,021	0.1		96.2	—
	(期 末) 2019年7月12日	5,057	0.8		97.3	—
第149期	(期 首) 2019年7月12日	5,047		—	97.3	—
	7月末	5,027	△0.4		97.7	—
	(期 末) 2019年8月13日	4,852	△3.9		97.5	—
第150期	(期 首) 2019年8月13日	4,842		—	97.5	—
	8月末	4,864	0.5		95.2	—
	(期 末) 2019年9月12日	4,967	2.6		95.4	—
第151期	(期 首) 2019年9月12日	4,957		—	95.4	—
	9月末	4,932	△0.5		97.6	—
	(期 末) 2019年10月15日	4,989	0.6		97.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第146期～第151期：2019年4月13日～2019年10月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第146期首	5,174円
第151期末	4,979円
既払分配金	60円
騰落率	-2.6%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ2.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、米国などの短期金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

マレーシアリングgitや米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第146期～第151期：2019年4月13日～2019年10月15日

投資環境について

▶ 債券市況

マレーシア、米国、シンガポール、ポーランドの短期金利は低下した一方、カナダの短期金利は概ね横ばいとなりました。マレーシア、米国、シンガポール、ポーランドの短期金利は、米中の貿易摩擦に対する不透明感などを受けて、世界景気の減速懸念が高まる中、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）などの主要中銀による緩和的な姿勢などを背景に、低下しました。一方、カナダの短期金利は、上記主要中銀による緩和的な姿勢などを背景に、2019年9月上旬にかけて低下基調で推移したものの、その後、当作成期末にかけては、9月の同国の雇用統計の内容が、市場予想を上回ったことなどを背景に、短期金利は上昇しました。結果、当作成期首との対比では、マレーシア、米国、シンガポール、ポーランドの短期金利は低下した一方、カナダの短期金利は概ね横ばいとなりました。

▶ 為替市況

マレーシアリングgit、米ドル、シンガポールドル、ポーランドズロチ、カナダドルは対円で下落しました。

マレーシアリングgit、米ドル、シンガポールドル、ポーランドズロチ、カナダドルは、当作成期首から2019年8月下旬にかけて、前述の米中の貿易摩擦に対する不透明感などを背景に、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、対円で下落しました。その後、当作成期末にかけて、香港の逃亡犯条例改正案の撤回が発表されたことや、英国の合意なき欧州連合（EU）離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、マレーシアリングgit、米ドル、シンガポールドル、ポーランドズロチ、カナダドルは、対円で上昇に転じたものの、当作成期首との対比では、マレーシアリングgit、米ドル、シンガポールドル、ポーランドズロチ、カナダドルは、対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

信用力が高く、相対的に利回りが高い4～5カ国（利回り面で有利であると判断した場合には4カ国へ投資、投資通貨数を絞り込む効果が限定的と判断した場合には為替リスク分散のため5カ国へ投資）に一定の比率で投資

する商品性に基づき、当作成期においては、作成期首から2019年7月初旬まではマレーシア35%、米国30%、カナダ20%、シンガポール15%、その後作成期末まではマレーシア35%、米国30%、シンガポール20%、ポーランド15%を組み入れて運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第146期 2019年4月13日~ 2019年5月13日	第147期 2019年5月14日~ 2019年6月12日	第148期 2019年6月13日~ 2019年7月12日	第149期 2019年7月13日~ 2019年8月13日	第150期 2019年8月14日~ 2019年9月12日	第151期 2019年9月13日~ 2019年10月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 (0.198%)	10 (0.199%)	10 (0.198%)	10 (0.206%)	10 (0.201%)	10 (0.200%)
当期の収益	6	6	9	6	10	10
当期の収益以外	3	3	0	3	-	-
翌期繰越分配対象額	120	116	116	112	113	114

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

利回り水準、格付、流動性などの観点から、当面、マレーシア、米国、シンガポール、ポ

ーランドを中心とした運用を行います。必要に応じ入れ替えも検討して参ります。

2019年4月13日～2019年10月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第146期～第151期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	26	0.524	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(11)	(0.228)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.276)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.020)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.043	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.034)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.007)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	28	0.567	

作成期中の平均基準価額は、4,990円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

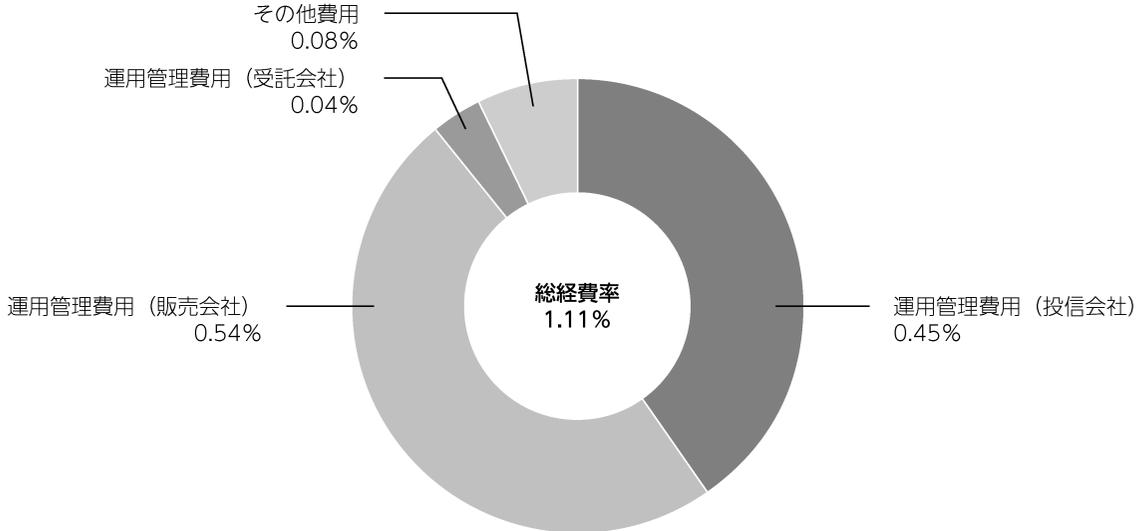
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.11%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月13日～2019年10月15日)

公社債

			第146期～第151期	
			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 2,316	千アメリカドル 2,921
	カナダ	国債証券	千カナダドル 2,149	千カナダドル 8,653
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 15,237	千ポーランドズロチ 2,085
	シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 3,066	千シンガポールドル 1,904
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリンギット 15,371	千マレーシアリンギット 16,993

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月13日～2019年10月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	第146期～第151期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 571	百万円 38	% 6.7	百万円 800	百万円 103	% 12.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第151期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 6,990	千アメリカドル 7,080	千円 767,681	% 29.7	% —	% —	% 8.5	% 21.2
ポーランド	千ポーランドズロチ 12,700	千ポーランドズロチ 13,116	364,908	14.1	—	—	7.9	6.2
シンガポール	千シンガポールドル 6,200	千シンガポールドル 6,288	498,228	19.2	—	—	4.8	14.5
マレーシア	千マレーシアリンギット 34,100	千マレーシアリンギット 34,549	894,474	34.6	—	—	24.5	10.0
合 計	—	—	2,525,291	97.5	—	—	45.7	51.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第151期末						
	利率	額面金額	評価額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
国債証券	1.875 T-NOTE 201215	1.875	2,000	2,005	217,458	2020/12/15	
	2.125 T-NOTE 220515	2.125	2,000	2,026	219,677	2022/5/15	
	2.75 T-NOTE 210815	2.75	2,990	3,048	330,545	2021/8/15	
小計					767,681		
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
国債証券	1.75 POLAND 210725	1.75	2,500	2,511	69,865	2021/7/25	
	2 POLAND 210425	2.0	2,500	2,521	70,136	2021/4/25	
	2.25 POLAND 220425	2.25	3,500	3,560	99,039	2022/4/25	
	5.25 POLAND 201025	5.25	700	728	20,280	2020/10/25	
	5.75 POLAND 211025	5.75	3,500	3,795	105,587	2021/10/25	
小計					364,908		
シンガポール			千シンガポールドル	千シンガポールドル			
国債証券	1.25 SINGAPORGOVT 211001	1.25	1,700	1,689	133,861	2021/10/1	
	2.25 SINGAPORGOVT 210601	2.25	3,000	3,032	240,233	2021/6/1	
	3.125 SINGAPORGOVT 220901	3.125	1,500	1,566	124,133	2022/9/1	
小計					498,228		
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
国債証券	3.62 MALAYSIAGOV 211130	3.62	17,900	18,090	468,351	2021/11/30	
	3.882 MALAYSIAGOV 220310	3.882	6,300	6,410	165,979	2022/3/10	
	3.889 MALAYSIAGO 200731	3.889	2,600	2,616	67,744	2020/7/31	
	4.16 MALAYSIAGO 210715	4.16	7,300	7,431	192,399	2021/7/15	
小計					894,474		
合計					2,525,291		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

（2019年10月15日現在）

項 目	第151期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,525,291	% 97.2
コール・ローン等、その他	71,458	2.8
投資信託財産総額	2,596,749	100.0

（注）作成期末における外貨建純資産（2,577,742千円）の投資信託財産総額（2,596,749千円）に対する比率は99.3%です。

（注）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.42円	1 ポーランドズロチ=27.82円	1 シンガポールドル=79.23円	1 マレーシアリングット=25.89円
------------------	-------------------	-------------------	---------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末	第150期末	第151期末
	2019年5月13日現在	2019年6月12日現在	2019年7月12日現在	2019年8月13日現在	2019年9月12日現在	2019年10月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,930,360,032	2,743,132,321	2,715,729,483	2,575,881,046	2,608,663,383	2,605,388,403
コール・ローン等	163,566,312	113,472,854	63,235,417	53,781,476	106,645,852	45,849,905
公社債(評価額)	2,642,179,860	2,613,150,615	2,628,760,062	2,501,565,088	2,481,140,328	2,525,291,613
未収入金	101,070,686	—	—	—	—	8,639,200
未収利息	19,616,302	15,609,461	14,275,689	12,441,624	13,063,127	17,193,033
前払費用	1,372,545	543,907	8,939,413	7,409,404	6,958,400	7,406,136
その他未収収益	2,554,327	355,484	518,902	683,454	855,676	1,008,516
(B) 負債	162,151,268	8,368,927	15,312,074	9,366,222	7,420,489	16,663,083
未払金	151,356,654	—	—	—	—	8,672,800
未払収益分配金	5,479,523	5,449,941	5,350,569	5,300,960	5,247,564	5,199,620
未払解約金	2,831,720	599,774	7,669,098	1,668,994	—	374,853
未払信託報酬	2,472,387	2,308,932	2,282,190	2,385,628	2,163,337	2,405,180
未払利息	62	83	63	29	34	4
その他未払費用	10,922	10,197	10,154	10,611	9,554	10,626
(C) 純資産総額(A－B)	2,768,208,764	2,734,763,394	2,700,417,409	2,566,514,824	2,601,242,894	2,588,725,320
元本	5,479,523,110	5,449,941,334	5,350,569,527	5,300,960,508	5,247,564,637	5,199,620,671
次期繰越損益金	△2,711,314,346	△2,715,177,940	△2,650,152,118	△2,734,445,684	△2,646,321,743	△2,610,895,351
(D) 受益権総口数	5,479,523,110口	5,449,941,334口	5,350,569,527口	5,300,960,508口	5,247,564,637口	5,199,620,671口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,052円	5,018円	5,047円	4,842円	4,957円	4,979円

○損益の状況

項 目	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期	第151期
	2019年4月13日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月12日	2019年6月13日～ 2019年7月12日	2019年7月13日～ 2019年8月13日	2019年8月14日～ 2019年9月12日	2019年9月13日～ 2019年10月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,278,308	5,781,191	5,790,162	6,269,834	5,942,518	6,652,227
受取利息	6,128,570	5,614,163	5,653,741	6,127,268	5,792,968	6,515,716
その他収益金	153,244	169,145	137,975	143,744	150,552	137,172
支払利息	△ 3,506	△ 2,117	△ 1,554	△ 1,178	△ 1,002	△ 661
(B) 有価証券売買損益	△ 65,007,806	△ 16,394,995	17,514,419	△ 107,142,980	62,153,584	12,519,689
売買益	1,955,636	7,046,508	21,809,213	4,590,243	64,892,520	14,059,191
売買損	△ 66,963,442	△ 23,441,503	△ 4,294,794	△ 111,733,223	△ 2,738,936	△ 1,539,502
(C) 信託報酬等	△ 2,616,831	△ 2,434,013	△ 2,434,867	△ 2,687,161	△ 2,271,090	△ 2,722,611
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 61,346,329	△ 13,047,817	20,869,714	△ 103,560,307	65,825,012	16,449,305
(E) 前期繰越損益金	△1,722,324,395	△1,778,460,703	△1,763,156,785	△1,730,337,319	△1,819,417,763	△1,741,748,300
(F) 追加信託差損益金	△ 922,164,099	△ 918,219,479	△ 902,514,478	△ 895,247,098	△ 887,481,428	△ 880,396,736
(配当等相当額)	(43,617,654)	(43,395,327)	(42,616,011)	(42,233,507)	(41,820,517)	(41,449,159)
(売買損益相当額)	(△ 965,781,753)	(△ 961,614,806)	(△ 945,130,489)	(△ 937,480,605)	(△ 929,301,945)	(△ 921,845,895)
(G) 計 (D+E+F)	△2,705,834,823	△2,709,727,999	△2,644,801,549	△2,729,144,724	△2,641,074,179	△2,605,695,731
(H) 収益分配金	△ 5,479,523	△ 5,449,941	△ 5,350,569	△ 5,300,960	△ 5,247,564	△ 5,199,620
次期繰越損益金 (G+H)	△2,711,314,346	△2,715,177,940	△2,650,152,118	△2,734,445,684	△2,646,321,743	△2,610,895,351
追加信託差損益金	△ 922,164,099	△ 918,219,479	△ 902,514,478	△ 895,247,098	△ 887,481,428	△ 880,396,736
(配当等相当額)	(43,617,654)	(43,395,327)	(42,616,011)	(42,233,507)	(41,820,517)	(41,449,159)
(売買損益相当額)	(△ 965,781,753)	(△ 961,614,806)	(△ 945,130,489)	(△ 937,480,605)	(△ 929,301,945)	(△ 921,845,895)
分配準備積立金	22,349,447	20,113,153	19,569,343	17,657,335	17,964,117	18,297,404
繰越損益金	△1,811,499,694	△1,817,071,614	△1,767,206,983	△1,856,855,921	△1,776,804,432	△1,748,796,019

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 5,581,670,654円

 作成期中追加設定元本額 21,508,517円

 作成期中一部解約元本額 403,558,500円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4979円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,610,895,351円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年4月13日～ 2019年5月13日	2019年5月14日～ 2019年6月12日	2019年6月13日～ 2019年7月12日	2019年7月13日～ 2019年8月13日	2019年8月14日～ 2019年9月12日	2019年9月13日～ 2019年10月15日
費用控除後の配当等収益額	3,661,477円	3,347,178円	5,185,098円	3,582,673円	5,744,252円	5,707,481円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	43,617,654円	43,395,327円	42,616,011円	42,233,507円	41,820,517円	41,449,159円
分配準備積立金額	24,167,493円	22,215,916円	19,734,814円	19,375,622円	17,467,429円	17,789,543円
当ファンドの分配対象収益額	71,446,624円	68,958,421円	67,535,923円	65,191,802円	65,032,198円	64,946,183円
1万口当たり収益分配対象額	130円	126円	126円	122円	123円	124円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	5,479,523円	5,449,941円	5,350,569円	5,300,960円	5,247,564円	5,199,620円

○分配金のお知らせ

	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期	第151期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。